

平成 29 年度 N I C U 等入院児の在宅移行支援の取組

(1) N I C U 入院児支援コーディネーター配置促進

N I C U 入院児支援コーディネーターを配置し、早期から在宅への移行支援を行うことにより、家族の療養環境の整備と N I C U 等病床の確保を図る。

< N I C U 等入院児支援コーディネーターもしくは同等の役割を担う職員の配置状況 >

【平成 29 年度】 25 施設
 (内訳) 総合周産期母子医療センター 13 施設
 地域周産期母子医療センター 11 施設
 周産期連携病院 1 施設

(2) N I C U 入院児支援コーディネーター連絡会

N I C U 入院児支援コーディネーターや、その業務を担っている看護師、助産師、MSW 等を対象として、各施設の取組の情報共有や退院支援に関わる資質向上を図る。

【平成 29 年度予定】

開催日	テーマ	参加人数
平成 29 年 12 月 1 日	(1) 医療ケアを必要とする子どもの受容と療育に関わる家族の心理 等	23 施設参加/37 施設中 (34 名)
平成 30 年 1 月 31 日	(1) 明海のチャレンジ生活 (2) 都立墨東病院における退院支援の取組 等	23 施設参加/37 施設中 (35 名)
平成 30 年 3 月 23 日 (予定)	(1) 精神疾患を合併する妊産婦への支援 等	-施設参加/37 施設中 (-名)

(3) 在宅移行支援病床運営事業

N I C U ・ G C U と在宅療養の間に中間病床として在宅移行支援病床を設置し、在宅療養等へ向けた準備(訓練等)を行い、運営することにより、N I C U 等長期入院児の在宅療養等への円滑な移行の促進を図る。

【平成 29 年度実績】 10 施設 43 床
 (内訳) 総合周産期母子医療センター 4 施設 (27 床)
 地域周産期母子医療センター 4 施設 (12 床)
 指定二次救急医療機関(小児) 2 施設 (4 床)

(4) 在宅療養児一時受入支援事業

N I C U 等長期入院児の在宅医療中の定期的医学管理及び保護者の労力の一時支援を行う。

【平成 29 年度実績】 20 施設 39 床
 (内訳) 総合周産期母子医療センター 6 施設 (14 床)
 地域周産期母子医療センター 9 施設 (17 床)
 周産期連携病院 1 施設 (1 床)
 指定二次救急医療機関(小児) 4 施設 (7 床)

(5) N I C U 等入院児在宅移行支援事業(新)

N I C U 等入院児の外泊訓練等、退院に向けた支援の充実を図り、在宅療養への円滑な移行を一層推進するとともに、退院後の安定した生活の継続を支援する。

【平成 29 年度実績】
 周産期母子医療センター 8 施設
 訪問看護ステーション 53 施設

(6) 小児等在宅移行研修事業

東京都周産期母子医療センター、周産期連携病院及び東京都こども救命センター(以下「周産期センター等」という。)における N I C U ・ P I C U 等入院児の在宅療養への円滑な移行を促進するとともに、在宅移行後の地域における児の安心・安全な療養生活の実現を図るため、周産期センター等、その他の病院、診療所、保健所及び区市町村等における医療・保健・福祉従事者に対して、研修会を実施することにより、N I C U ・ P I C U 等入院児の円滑な在宅移行を担う人材と、移行後に必要な医療・保健・福祉サービスを担う人材の育成を図る。

【平成 29 年度実績】

区分	開催日	テーマ	
保健師向け	平成 30 年 1 月 16 日	○NICU における家族支援・退院支援の取組について	神奈川県立こども医療センター 新生児科部長 豊島勝昭氏
診療所医師向け	平成 29 年 12 月～ 平成 30 年 1 月	○小児在宅医療の実際(訪問診療に同行)	医療法人財団はるたか会あおぞら診療所墨田
多職種合同研修	平成 30 年 2 月 10 日～11 日	○小児在宅医療の現状と多職種連携の意義と理念 他	医療法人財団はるたか会・NPO 法人あおぞらネット理事長 前田浩利氏 他 16 名
指定二次救急医療機関 (小児) 職員向け	平成 29 年 8 月 3 日～4 日	○看護師対象研修	都立小児総合医療センター
	平成 29 年 10 月～平成 30 年 2 月	○理学療法士対象研修	都立小児総合医療センター
	平成 29 年 11 月 6 日～7 日	○看護師対象研修	都立東部療育センター